

(7) 雑排水、厨房排水再利用

様々な施設の手洗い排水や空調ドレン、飲食施設の厨房排水の各施設単位での一次除害後の再利用向け原水を、域内の（仮）水資源センターに集めて中水製造を行い、各施設のトイレ洗浄水向けに域内再供給を行う計画である。

(イ) 雨水再利用

各エリアにて雨水を集水し、簡易ろ過を加えて水景用の供給水や灌水に利用する計画である。

表 1.2.3 供給処理施設計画の概要

施設種類	用途	備考(想定)
海水熱利用システム	供用時の海水熱の利用	最大 6,000 m ³ /h
ボイラー	供用時の各施設への熱供給	・ガス消費量：約 1,000 m ³ /h 〔重油換算：約 1,140L/h〕
自家用発電設備 (コージェネレーションシステム)	供用時の各施設への電力供給	・発電出力が 2 万キロワット未満 ・ガス消費量：約 1,300 m ³ /h 〔重油換算：約 1,482L/h〕
雑排水、厨房排水再利用施設	供用時の排水再利用	最終的には下水管へ放出
雨水再利用施設	供用時の雨水再利用	最終的には下水管へ放出



図 1.2.5 エネルギーセンターの位置等

(7) 交通計画

(a) 施設へのアクセス

施設へのアクセス方法は、表 1.2.4 に示すとおりである。

自動車、鉄道等の交通アクセスに加え、大規模なバス輸送機能、船舶による輸送機能を導入することにより、周辺交通量の増加を極力抑制する計画である。

また、ICT等を利用した交通情報提供、公共交通利用促進、本事業に伴う資材・物資搬入等の物流の効率化など、総合的な渋滞対策及び交通マネジメントにより、周辺交通への影響を低減させる計画である。

表 1.2.4 来場者の施設へのアクセス方法

アクセス方法	輸送機能の内容	配慮事項など
自動車	繁忙期・休日・大規模イベント開催時の自家用車需要に対応する駐車場を I R 区域内に確保する。	公共交通機関、シャトルバス等の利用促進及び高速道路の利用促進を図ることで、渋滞回避に努める。
鉄道	大阪メトロ中央線に乗り入れる鉄道新線の駅が、I R 区域に隣接して整備される。	関西交通事業者等と連携して、曜日や時間帯等の需要に応じた最適なダイヤグラムを検討する。
バス	バス（シャトルバス等）及び海上アクセス拠点	
船舶	を I R 区域内に整備する。	

(b) 施設関連車両の走行ルート

施設関連車両の主要走行ルートは図 1.2.6 に示すとおりであり、阪神高速道路の湾岸舞洲出入口・淀川左岸舞洲出入口まで走行し、此花大橋、夢舞大橋を經由して夢洲の計画地に至る経路を基本とする。

一般道では、北港通等を經由して夢舞大橋から、または咲洲トンネル等を經由して夢咲トンネルから夢洲の計画地に至る経路とする。



図 1.2.6 施設関連車両の主要走行ルート

(c) 駐車場整備計画

施設内の駐車場については、来場者用の駐車スペース（約 3,200 台）を設置する計画であり、来場者想定に基づいた自動車の時間帯別交通量及び滞在時間を考慮して、必要駐車台数を以下に示す方法で算出した。

- 交通量は、繁忙期・休日・大規模イベント開催時を前提とした。
- I R施設はカジノのみ 24 時間営業とし、類似施設の実績を基に、自動車で来場するカジノ利用者は平均 5 時間駐車するものとした。
- 自動車で来場する宿泊者については、全車両が終日駐車するものとした。
- カジノ利用者及び宿泊者以外の来場者の自動車については、午前 1 時から 5 時までの時間帯に入退場がないものとした。

以上の前提条件を踏まえ、時間帯別の来場台数と退場台数を差し引きして必要駐車台数を算出した。駐車場位置・台数等は図 1.2.7 に示すとおりである。



図 1.2.7 駐車場の位置・台数等